

事業評価シート（平成26年度分）

1. 事業の位置付け

事務事業名	小児医療費助成事業		
事業担当	健康・こども部 こども家庭課		
事業種類	ハード	ソフト	
総合計画の位置付け	'02	基本目標2 子育て、長寿を楽しみ、安心していきいきと暮らせるまち	
	'03	健康・安心・福祉力 その人らしく安心して暮らせる生活を支援する	
	'02	2 多様な地域課題に的確かつ総合的に対応する地域密着のサービスを充実する	
根拠法令等	平塚市小児の医療費の助成に関する条例、平塚市養育医療に関する規則		
対象・受益者	通院小学校6年まで、入院中学校卒業まで	事業期間	
委託・協働	【委託： 3セク・財団 企業 NPO その他】【協働： 】		
目的・目標		事業の概要	
小児の健全な育成を支援し、健康増進が図られています。		通院（小学校6年まで）、入院（中学校卒業まで）時の医療費を助成します。また、未就学児は所得制限なしで医療費を助成します。	

2. 事業の検証

活動指標	指標名	医療証発行者数			単位	人
	説明・算定式					
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標	26000	26000	26000	26000	
	実績	24764	24467	23767		
活動指標	指標名	医療証発行者数の内、拡大分			単位	人
	説明・算定式	医療証発行者数 - 小学校3年までの発行者数 (= 小学校4年から小学校6年までの発行者数)				
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標	5800	5800	5800	5800	
	実績	5220	5366	5162		
成果指標	指標名	受診者数			単位	件
	説明・算定式	レセプトの件数				
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標	437900	400000	400000	400000	
	実績	387773	375916	377748		
成果指標	指標名	受診件数の内、拡大分			単位	件
	説明・算定式	受診件数 - 小学校3年までの受診件数 (= 小学校4年から小学校6年までの受診件数)				
		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	
	目標	88000	81000	81000	81000	
	実績	46873	57987	62290		
進捗状況	：予定どおり					
	遅れている理由					
平成26年度の主な取組と成果						
診療件数377,748件で医療扶助費754,778,908円を支出したことにより、小児の健全な育成を支援することができました。						
平成26年度の検証結果	B：おおむね成果があがった					

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	市民ニーズ 事業目的の達成状況 市の関与の必要性 その他	小児の健全な育成を支援し、市民ニーズの高い事業であることから、必要性は高いと思われます。	高低
	有効性	上位施策への貢献 市民満足度を高める方策 継続による成果向上の可能性 その他	医療費を助成することにより小児の健康増進が図られるため、市民満足度を高める上で有効性の高い事業です。	高低
	妥当性	事業の目的、対象、内容 受益者負担、補助額 業務の執行体制(人員配置、業務分担) その他	小児の健全な育成支援を図ることが目的であるため、制度の趣旨を踏まえ、一部負担金の導入はしていません。	高中低
	効率性	業務プロセス改善による効率化の方策 コスト削減の可能性 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) その他	対象年齢拡大に対応したシステムを運用することにより、効率化を図りました。	高中低
今後に向けた課題の分析 診療報酬審査支払手数料が増額されるため、業務委託先の変更を含め検討を行います。また、引き続き、システムの効率的な運用を図り、安定的な事業の展開を図る必要があります。				

3. 年度別事業内容・決算額

(単位:千円)

		平成24年度 決算額	平成25年度 決算額	平成26年度 決算額	平成27年度 予算額
事業内容		医療費助成の実施	医療費助成の実施	医療費助成の実施	医療費助成の実施
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	139,544	137,023	144,946	136,803
	起債	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0
	一般財源	615,598	609,764	631,706	651,374
事業費 (A)		755,142	746,787	776,652	788,177
執行率 (%)		90.77	96.50	99.66	

4. 今後の事業展開(担当課としての提案)

平成28年度の取組方針 近隣市町村の状況を研究しながら、効率的な業務運営を図ります。また、診療報酬審査支払手数料が増額されるため、業務委託先の変更を含め検討を行います。
課長コメント 今後も効率的な運用を図りながら、安定した事業の展開をしていきます。